



12月18日 ヒルトップハイツ クリスマス会

緑の園



1月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ



デイサービスセンター

だより

第103号

令和7年1月1日発行



Led Zeppelin/Physical Graffiti(1975)

**あけましておめでとうございます。
今年はずせな一年と
なりますように。**



新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては佳き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は巳年です。巳年は再生と復活、新しいことの始まりや変化の年だそうです。

今までの姿から脱皮して変容や成長の一年としたいものです。

さて、平成12年(2000年)4月に始まった介護保険に関しての記事が北海道新聞でありました。(11月から12月にかけて)

複数回にわたるその記事では「介護」に携わる様々な方々の置かれている状況、それぞれの立場における苦悩や日々の業務を遂行していく中で職員に重くのしかかる緊張感と一人一人の使命感に支えられているということが紹介されていて、介護を提供する側の人間としてとても共感できる記事の内容でした。

「介護保険」の導入当初「走りながら考える。」とうたわれて様々な問題点が指摘された中で施行されましたが利用者様を始めとしてかわる多くの方々への負担を強いながらも、広く介護に携わるひとり一人の職員の献身的な努力によって支えられ現在に至っている制度であると強く思います。

今、私たちが身を置く介護業界は職場環境の過酷さばかりが広



く一般に浸透していますが、この仕事の本来の姿は「人を支え、その人が幸せに生活できることを目的」とするものです。

ある介護職員が「Aさんが私の声掛けに、とても素敵な笑顔で返事をしてくれてすごうれしかったです」とか別の職員は「Bさんの介助をした後、『ありがとうすっきりしたわ。』』と感謝の言葉をもらってとてもうれしかったです」等、そんな小さな感動に日常的に包まれている暖かな職場であることをもってたくさんの方々を知ってほしいです。

以前、結婚を機に退職したある介護職員が「私は、最初に勤めたのがこの施設で本当に良かったです」と、介護の仕事のつらさや厳しさを感じながらも周りの仲間にも恵まれて彼女の思い描く「介護」を提供できる職場であったことを管理職(私の場合なんちゃって管理職でしたが)としてとてもうれしく思いました。

私は、高齢者福祉施設の職員として勤務してから40年



が経過しようとしています。

なぜこんなに長く勤務することができたのかを考えたときに何より勤務を通じて得られる

日々の小さな喜びや感動、ほんの些細な微笑みの瞬間、それら一つひとつの積み重ねが大きな満足感であったりこの仕事への誇りにつながっているような気がします。

まあ、うっぶんやストレスもたまりますけど仕事なんでねえ…。過去に私は「もう、やってらんねーぜ!」ってキレたこともありました。日々反省です。(おばら)

心温まるご寄付ありがとうございます。 ございます。

先月当法人の運営する養護老人ホーム緑の園にご寄付を賜りましたのでご紹介いたしますとともに心からお礼申し上げます。
ありがとうございました。



遠軽町丸瀬布新町
小林 哲雄 様



新人職員を紹介 いたします。

先月11日から準調理員として地域密着型特別養護老人ホームグリーンプラザにおきまして準調理員が一名採用になりましたので紹介いたします。何卒よろしくをお願いいたします。



準調理員

清野 賢 悟(せいのけんご)

～採用にあたっての抱負～

「一所懸命に頑張りますのでよろしくです。」



マウレ山荘様 今年もありがとうございます。

先月18日にマウレ山荘様から特別養護老人ホーム丸瀬布ビルトップハイツをはじめ当法人のそれぞれの施設をご利用される皆様にクリスマスケーキをご提供いただきました。

特に緑の園/グリーンプラザでは毎年この時期になるとマウレ山荘様から贈られるクリスマスケーキを楽しみにされておられるご利用者様がおられます。

18日の当日はそれぞれの施設の皆さんでおいしくいただきました。

毎年この時期の季節の行事としてすっかり定着したマウレ山荘様の活動に対しまして、心から感謝いたしますとともに、お礼申し上げます。

ありがとうございました。これからもどうぞよろしく願い申し上げます。(終わり)



先月の出来事を紹介いたします。

先月はそれぞれの施設でクリスマス会を開催いたしました。

それぞれの施設でご利用者さんに楽しんでいただくために職員一同一所懸命に準備をしておりましたが、多くはその思いばかりが空回りしていたような気がします。

残念ながらグリーンプラザと緑の園は職員の都合で1月の新年会へ開催予定を変更いたしました。



今年もどうぞよろしく お願いいたします。



いつもの会議ネタいきます。

先月の緑の園/グリーンプラザそして居宅介護支援事業所のそれぞれの会議でお話した内容であります。



年末に実施された兵庫県知事選挙の結果に大きく影響を与えたといわれているのがSNSの存在です。

従来の新聞やテレビといったメディアよりもSNSが投票行動に大きくかかわったとのこと。テレビもSNSも両方恣意的な情報を扱っていると思いますが、今回の結果はテレビ側への反発のように感じます。身近なSNSによる情報発信力の大きさを痛切に感じました。例えば、施設に来園されたお客さんが施設に対して感じたことを何気なく投稿し、断片的な情報でも発信された内容がマイナス情報の場合はすぐに拡散されてしまうだろうなと考えると、とても恐ろしく感じました。悪意的な発信でなくても受け取る側に悪意があれば明白な批判になります。

まずは批判や誤解のないように勤務することが大切なことには間違いないんですけど。今年もどうぞよろしくです。(おぼろ)

